

Fujitsu UVance

富士通株式会社

執行役員 SEVP
グローバルビジネスソリューション
ビジネスグループ

高橋 美波

2023年9月25日



これまでの 10年

デジタルテクノロジーによって
人々の生活やビジネス、
社会や環境が大きく変化

ニューノーマルな生活スタイルの定着
信頼性の低い情報の氾濫や
プライバシー侵害などの問題も増加



これからの 10年

デジタルイノベーションによる
サステナビリティ・
トランスフォーメーション

環境・社会・経済に
より良いインパクトを与えるために
ビジネスを変革する

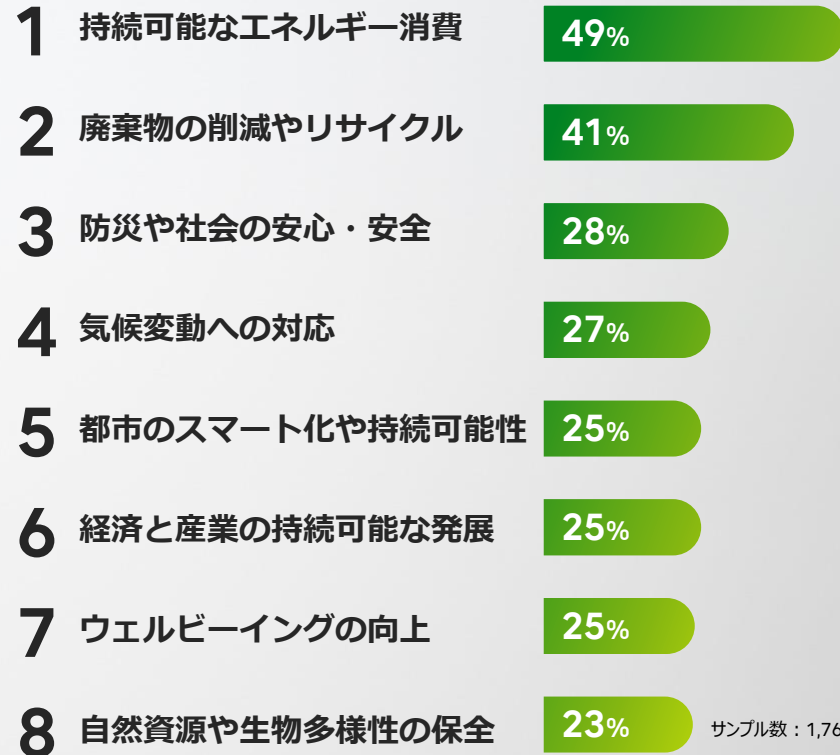


企業における サステナビリティとは



ビジネスリーダーは、 サステナビリティを ビジネス機会として 捉えている

サステナビリティにおけるビジネス機会



Vertical Areas

社会課題を解決する
クロスインダストリーの4分野



Sustainable
Manufacturing



Consumer
Experience



Healthy
Living



Trusted
Society

Horizontal Areas

クロスインダストリーを支える
3つのテクノロジー基盤



Digital Shifts



Business
Applications



Hybrid IT

Key Technologies



Computing



Network



AI



Data &
Security



Converging
Technologies

富士通のビジネスの変遷

マーケットリーダーとして「時代をつくる」

Fujitsu
UVance

1970



マネージド
インフラサービス

60,000社

国内トップ
レベルの
保守拠点網

1985



データセンター
サービス

1,700社

国内シェアは
国内ベンダーで
トップレベル

1985



ネットワーク
サービス

5,000社

2020年
国内初
ローカル5G
免許取得

1995



ソフトウェア
サービス

40,000社

基幹システムの
インフラ基盤を
支える
ミドルウェア

2010



クラウド
サービス

8,500社

国内シェアは
国内ベンダーで
トップレベル

2021

2022

Fujitsu
UVance

ビジネスの確実な成長と
持続可能な未来の実現へ

DX/SX
新サービス

Fujitsu
UVance

10月発表

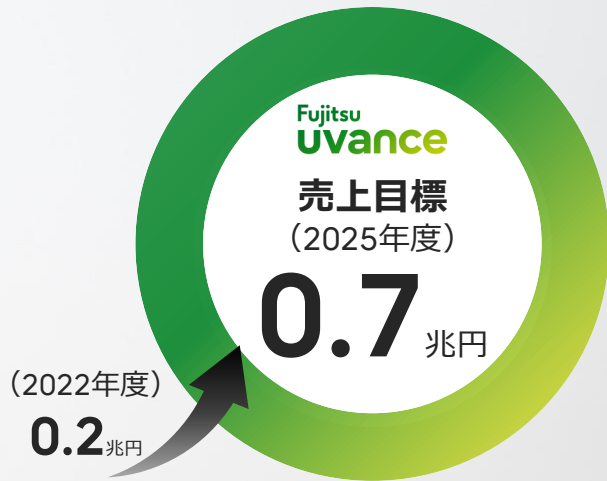
2022年度売上
2000億円

Fujitsu Uvanceの位置づけ

これまでの事業



新規事業の立ち上げ



ビジネス
モデル

業種業務軸の商品

顧客IT部門の要件主導

個社対応のSI

社会課題軸のオファリング

イシュードリブン、コンサルリード

グローバル共通サービス



長年の事業で
築いた資産

グローバルな顧客基盤

業種の知見

テクノロジー

パートナー連携

クロスインダストリー（業種横断）



動画をご覧ください

Fujitsu Uvance オファリング開発戦略

オファリング開発と商談を同時進行し、SX市場のリーダーポジションを獲得



- 市場デマンドを捉え、グローバルに販売可能なオファリングのアジャイル開発
- オファリングの標準化率向上による、TTM*の短縮・スケーラビリティ・高収益性の確保
- 継続的な機能拡張で、オファリングの提供価値を進化

戦略的アライアンス

戦略パートナー



国内随一のグローバルSIパートナー
Uvanceにおける戦略的パートナーシップ拡大
「Healthy Living Platform」で「マイクロソフト
ジャパン パートナー オブ ザ イヤー 2023」の
「Healthcare & Life Sciencesアワード」を受賞



「RISE with SAP」を自社実践
グローバルテクノロジーパートナー
日本企業初の「RISE with SAP」の
プレミアムサプライヤー
(2024年1月にUvanceオフリングを提供開始)



特定の業種から全社的な協業へ拡大
オフリング開発や人材育成で連携
「AWS プレミアティアサービスパートナー」
認定取得 (2023年8月)



Salesforceパートナープログラムで
国内No.1の認定実績
Uvanceの製造・ヘルスケアサービスの共同開発



Worldwide Elite Partner of the Year 2023受賞
高度専門人材の育成、マーケットプレイスにUvance IPを展開

Uvance新規パートナー



脱炭素化実現に向けた
ワンストップサービスを共同で提供



デジタルツイン技術領域で協業

Fujitsu Uvance オファリングの本格展開

他社に先駆けてお客様のSXを実現するオファリングをラインナップ

Vertical Areas

社会課題を解決する
クロスインダストリーの
4分野

26
オファリング



Sustainable Manufacturing

産業の発展
持続可能エネルギー 社会の形成

5

- ・ 産業・製造DX
- ・ 製造SCM最適化
- ・ スマートファクトリー
- ・ GHG削減プラットフォーム



Consumer Experience

新たな購買体験
持続可能な安定供給

5

- ・ 店舗DX
- ・ オムニチャネルサービス
- ・ パーソナライズドサービス
- ・ サプライチェーンの最適化



Healthy Living

誰もがウェルビーイングな社会に

5

- ・ 医療・健康データ
利活用基盤
- ・ 革新的医薬品の早期創出



Trusted Society

レジリエントな社会
安心/安全/快適な暮らし

11

- ・ 現場スタッフ業務効率DX
- ・ 空港・海上業務効率DX
- ・ 交通・輸配送最適化
- ・ 環境・災害シミュレーション

Horizontal Areas

クロスインダストリーを
支える3つの
テクノロジー基盤

Digital Shift

- ・ 働き方DX
- ・ ブロックチェーン
- ・ データ解析・AI画像解析

Business Application

- ・ グローバル標準統合基盤
- ・ SAP・Salesforce
- ・ ServiceNow

Hybrid IT

- ・ セキュリティソリューション
- ・ HPC・CaaS
- ・ Local5G/IoTサービス

Fujitsu Uvance 最新の取り組み・事例

Sustainable Manufacturing

産業の発展
持続可能エネルギー社会の形成



川崎重工業 様

製造業DXプラットフォーム
みんなで育てる製造業プラットフォームサービス協業開始



帝人 様

環境価値化プラットフォーム
～リサイクル素材利活用～
共同プロジェクト開始



大手製造メーカ 様

GHG排出量の可視化
GHG排出量の可視化 (Scope3)
削減施策のシミュレーション

Consumer Experience

新たな購買体験
持続可能な安定供給



トリドールホールディングス 様

食品ロス削減
～AI需要予測～
丸亀製麺国内全823店舗で採用



グローバル大手小売業 様

エネルギー利用の最適化
店舗のフリーザーや空調を
IoT技術にて管理



tex.tracer 様

サプライチェーンの透明化
トレーサビリティによるサステナブル&
エシカルなファッションビジネスの実現

Healthy Living

誰もがウェルビーイングな社会に



ペプチドリーム 様

創薬プロセスの変革
～コンピューティングの活用～
ソリューション開発/販売の協業



札幌医科大学 様

地域医療の質の向上
～個人健康データの活用～
個人健康データ活用推進の合意



武田薬品 様

国立がん研究センター 様
ペイシエントジャーニー分析・
可視化
共同研究による有効性の検証

Trusted Society

レジリエントな社会
安心/安全/快適な暮らし



シュトゥットガルト市 様

レジリエントな社会の実現
デジタルツインプラットフォームを
提供開始



港湾局 様

Smart Seaportの実現
港湾内外の混雑解消、
港湾業務の効率化



WBCSD 様

脱炭素交通デジタルコラボ
EV充電によるCO2排出量削減
Arcadis, National Gridと実証

Hybrid IT

シームレスかつ安全、
サステナブルな変革を



Whitbread 様

クラウド運用の自動化
による業務効率化



長瀬産業 様

企業間のトラストな
情報連携



福岡県田川市 様

障がい者スポーツの
リモートコーチング

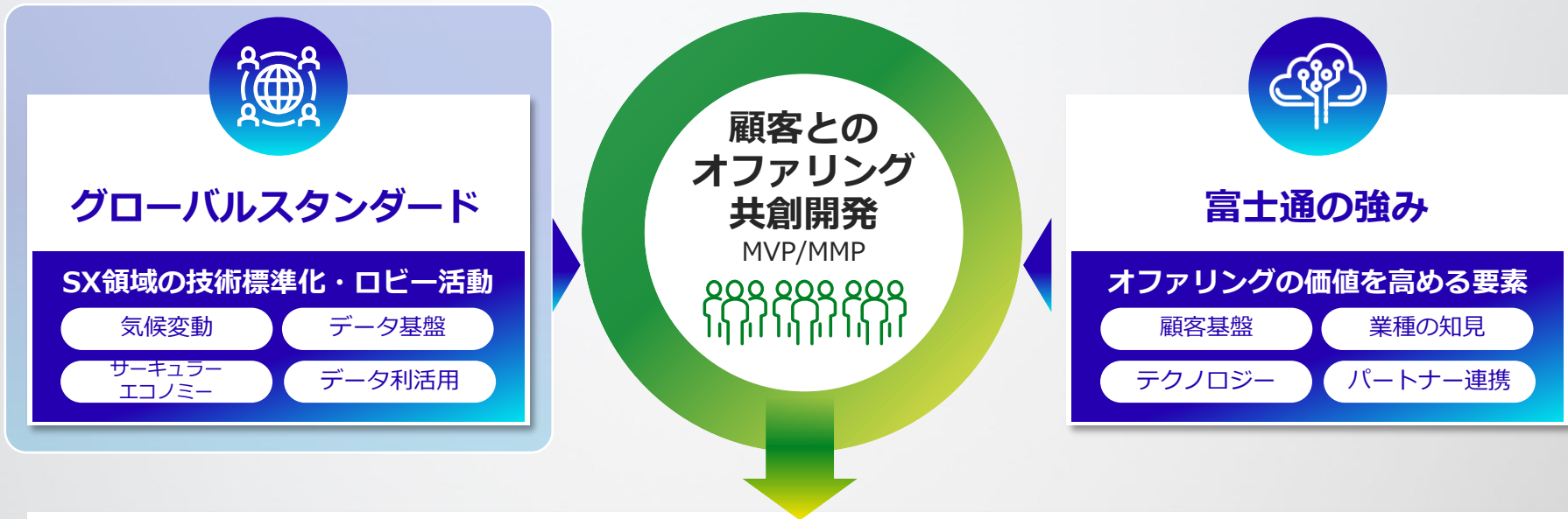


水道局 (欧州) 様

制御システム(OT)の
セキュリティ強化

Fujitsu Uvance オファリング開発戦略

オファリング開発と商談を同時進行し、SX市場のリーダーポジションを獲得



- ・ 市場デマンドを捉え、グローバルに販売可能なオファリングのアジャイル開発
- ・ オファリングの標準化率向上による、TTMの短縮・スケーラビリティ・高収益性の確保
- ・ 継続的な機能拡張で、オファリングの提供価値を進化

SX市場のグローバルスタンダードに向けた取り組み

気候変動

Green x Digital
Consortium
JEITA

見える化WG副主査として 活動を牽引

サプライチェーン全体でのCO2排出量の
見える化による削減の仕組みづくりを検討

サーキュラーエコノミー

CIRPASS

参加団体との連携強化

EUサーキュラーエコノミー政策で2027年
以降義務化が始まるDPP*のシステム要件や
ルール案を作成

*Digital Product Passport (デジタル製品パスポート)

データ基盤

Catena-X

データエコシステムへの参画

自動車サプライチェーンにおける安全な
企業間データ交換のためのルールや標準を整備

気候変動



サプライチェーン流通の グローバル実証に参画

Scope3カテゴリ1削減を目的に、製品
カーボンフットプリントの算出方法/データ
連携方法論を作成。国際標準を狙う

データ利活用

JDMC

ESGデータマネジメント研究会 発足 (主査)

日本企業のESG評価・開示における課題と
付加価値について検討

WBCSD PACT プログラム

世界初の社会実装に成功



サプライチェーン全体のCO2排出量の可視化と データ連携を通じてネットゼロを目指す

背景

- 取引先由来のCO2排出量（Scope3カテゴリ1）の算出には、購入金額由来の原単位を用いた計算が主流。排出量を削減努力する企業から調達しても、削減を反映できるルールがない
- 標準化された方法に基づく部材ごとのPCF*1の算出と、共通フォーマットによる企業間のデータ連携が必要、全産業での標準化が長年の課題
- PCFの算出方法やデータ連携の技術仕様について2021年6月にWBCSD *2がPACTを立ち上げ、当社も2022年11月よりPACT*3のメンバーとしてルールメイキングの議論に参画

*1: PCF : 製品カーボンフットプリント

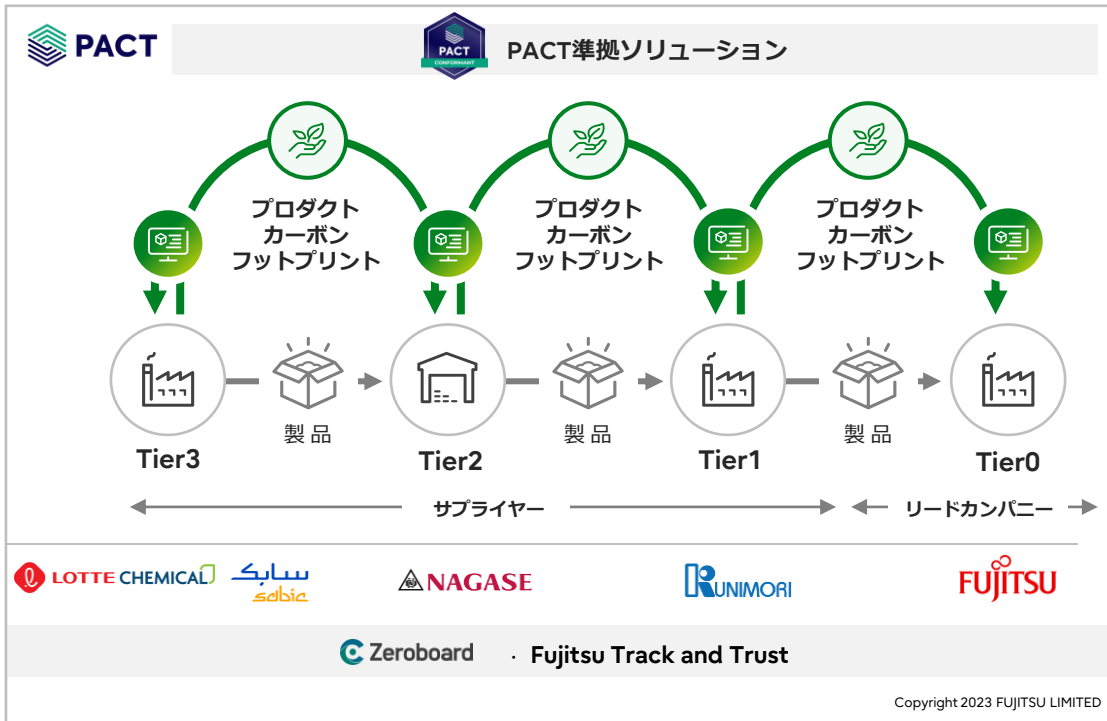
*2: WBCSD : 持続可能な開発のための世界経済人会議

*3: PACT : 炭素の透明性のためのパートナーシップ



PACT Implementation Program 概要

長瀬産業株式会社、株式会社ゼロボードとともに、Tier0からTier3までのリアルなサプライチェーンを構成するレイヤー間でのCO2排出量のデータ交換とPCFの算出を実現



対象製品

当社ノートPC

サプライヤー階層

当社ノートPCの製造にかかわる
リアルサプライチェーン上流のサプライヤー
(Tier1、2、3)

データ連携項目

「Pathfinder Framework」に基づくPCFデータ

ソリューション

「Pathfinder Network」に基づく
PACT準拠ソリューション
「Fujitsu Track and Trust」 「Zeroboard」

*両社ともJEITA「GreenxDigitalコンソーシアム見える化WGの国内実証実験に当社と参画



We are ready to
ACTIVATE
your Sustainability
Transformation Journey.



Thank you

